

令和7年6月16日

生徒・保護者の皆様

野田市立木間ヶ瀬中学校
校長 岩切 信之

「家庭学習のすすめ」の配付について

新緑の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、本校の教育活動にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。さて今般、「家庭学習のすすめ」を作成いたしました。これまでも各ご家庭における自主的な学習を推奨してきたところではございますが、さらなる学習内容の定着や理解、質の向上を考え、作成いたしましたので、ご一読ください。

ポイントとしては、授業における学習内容の理解を深めるために、復習を中心に学習を進めたらどうか、という形になっておりますが、さらに発展、工夫していただけることにも大いに期待しています。

今後も授業改善を図り、生徒の学力向上を目指して参りますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

尚、ご不明な点がございましたら、学校までご連絡ください。

1 「どうして勉強しないといけないの？」の問いに、このように答えた方々がいます。

★ 広い視野で世界を見るため

～静岡県藤沢市 聖園女学院中学・高校 校長 ミカエル カルマノ 神父～
「勉強は自分の窓を開けるということです。学ぶことで、今まで見ていたものとは違う何かを見つけることになります。視界を広げるために学ぶのです」

★ 子どもの「生きる力」を引き出すため

～教育ジャーナリスト おおた としまさ 氏～
「未知なる状況に接しても狼狽することなく、道理を見極めて対処する能力」こそ、どんな状況の中でも「生きる力」であり、それを引き出すことこそが教育の衣美だといえるのではないでしょうか。

★ 生きるうえで役立つものを選ぶため

～将棋棋士 羽生 善治 氏～
「この世界にはたくさんものがあります。目に見えるもの、見えないもの、手にふれられるもの、ふれられないもの、その一つひとつを知ってゆくのが勉強です。それが大きくなって大人になったときに生きていくうえでとても役に立つのです。たくさん勉強してたくさんを知って、大人になったときににらないものは自分の判断で捨てて、残ったものがあなたが勉強したものです。」

★ 「学び方」を知るため

～筑波大学准教授 メディアアーティスト 落合 陽一 氏～
新しいことを学ぶ必要があるときに、「どう学ぶのが自分にとって効率的か」を知っていると非常に有利になります。そのためにどうやってその状態に自分を持っていくかを考えながら、常に勉強し続けることが大事になってくるのです。「学習する訓練」を怠っていたら、社会に出たときに新しいことを学習する方法がわからないのでつまずいてしまうのです。

★ たくさん失敗して成長するため

～教育評論家 石田 勝紀 氏～
自分の成長のため。勉強のできる人と比べて自分ができないという比較ではなく、1ヶ月前の自分と比べて成長したのかどうか」が重要であり、途中で投げ出さず、諦めない姿勢を貫くことが大切なのです。
「学び＝成長は失敗や間違いから生まれてくるもの」

2 なぜ、家庭学習なの？

★ 小学校・中学校での学習内容は将来を生き抜くうえでの基礎基本

中学生の多くは、卒業後、さらなる学びを求めて上級学校に進学します。上級学校では中学校以上により広く、より深い内容を学びます。より広く、より深い学びを進めるうえで小学校・中学校での学習内容の理解は基盤となります。しかし、学校での授業時間の中だけでは「確実な理解」は難しいのです。そこで家庭での学習が重要になります。

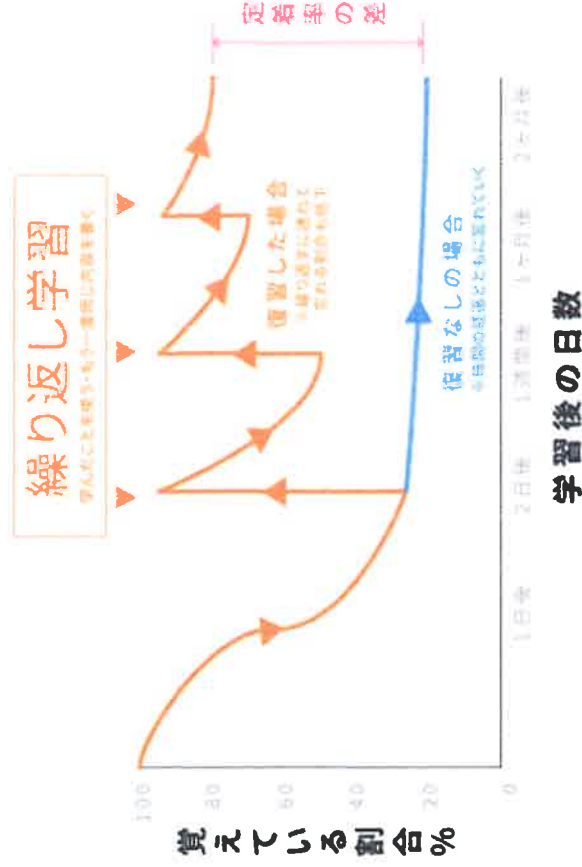
★ やらされての学習ではなく、自ら求めた学習がより身につく

小学校・中学校は義務教育なので、通学しなければ、という思いを強く持ちます。学習が「嫌い」「苦手」な人にとっては、「学校が苦痛」「授業中、無気力になってしまふ」という人もいます。塾に通う人の中にも、仕方なく、という人もいます。ではないでしょうか。このようなタイプの学習は「やらされての学習」になります。自分から「勉強しなくては」「勉強したい」という思いが動機となつてする学習を「自ら求めた学習」といいます。

「やらされての学習」と「自ら求めた学習」どちらが身につく学習？簡単に想像できると思います。

★ 人間は忘れやすいのです

エビングハウスの忘却曲線（脳の忘れるしくみ）より



上のグラフは、ドイツの心理学者 エビングハウスが発表した「忘却曲線」です。人間の忘れやすさと「覚え方」を数値化したグラフです。

せっかく覚えたのに何もしないでいると、2日後には覚えていない割合が30%位に減り、2ヶ月経過すると約20%しか覚えていないということが分かります。

しかし、覚えてから2日後、1週間後、1ヶ月後に復習をすると結果は全く逆になる

のです。

つまり、一度学習したことを十分に定着させるには復習が大事。授業で学んだことを忘れないために家庭学習で復習をしてほしいのです。

2 どのように家庭学習をしたらいい？

★国語

- 1 授業内容の確認。
 - 2 毎日漢字練習（1日10個でも継続して行う。）
 - 3 ワークの問題を繰り返し行う。（問題に対してどのように答えるのかを定着させる。）
 - 4 問題集を準備し、一日1題でもよいので読解問題を継続して行う。
（自分がやりきれる厚さで解説が多いものを選ぶとよい。）
- ☆ 国語は継続しないと伸びない教科です。そのため、継続して学習していくことが大切です。少しでもよいので文章を読み、問題を解く時間をつくってほしいと思います。国語で成績を上げるためには、1～4を粘り強く継続的に取り組むことです。

★社会

- 1 授業内容の確認。
 - 2 授業で新しく習った用語の意味を理解する。
 - 3 用語の意味を他の人に説明できるようになるまで繰り返し確認する。
自分の中で理解したと思っても、口に出して説明しようとするとできないことがあると思います。人に説明できるようになるまで練習してみましょう！友達や家族の人にクイズのような形で話すのもアリだと思います！
- 1日に数分でも良いのでなるべく毎日学習していきましょう。

★数学

- 1 授業内容の確認。
 - 2 授業で説いた練習問題をもう一度解く
 - 3 ワークや章末問題で類題を解く
- ☆ 数学はとにかく同じ問題を何度も解くことが大事です。
解き方を覚えるには、一度理解し、何も見ずにもう一度解くことが大事です。この手順ができるようになると“理解”できたと言えます。
この繰り返しで基礎ができ、様々な問題へチャレンジすることができるので、とにかく基礎の徹底を意識すれば、数学が好き・得意になります。

★理科

- 1 授業内容の確認
- 2 授業で取り組んだ練習問題をもう一度解く
- 3 教科書内「Review ふり返ろう」にチャレンジしよう
- 4 教科書内「学習のまとめ」で単元の重要な語句を確認しよう

☆ 理科は異なる単元のさまざまな語句を覚えたり、計算によって結果を求めたりと多岐に渡った学習が必要になります。そのため、理科の中でも得意な部分と苦手な部分がある人も多くいると思います。1～4のことを行い、苦手な部分が徐々に少なくなっていくと良いです。また、実験や観察については、器具、操作手順、注意をよく振り返れると良いです。

★英語

- 1 読める
- 2 日本語に直せる
- 3 英語に直せる
- 4 聞き取れる この4つができて、覚えたと言えます。

☆単語練習

新出の語句や覚えたい単語を書いて覚えます。〈手順〉単語を読む→日本語の意味を言う→書く

その日のうちに学習し、2日後、1週間後、というように繰り返しテストをしよう。

☆音読練習

教科書本文をすらすらと声に出して、読めるようになるまで音読練習をする。教科書のQRコードを読み取り、音声を聞くことをおすすめします。

〈手順〉文章を見ながら音声を聞く→内容や意味を意識しながら、音声の後に続いて

1文ずつ声に出して読む→発音や抑揚を意識して音読する→すらすらいえるようになるまで繰り返し音読する

☆基本本文の書き取り練習＆練習問題

まず、基本文とその意味を覚える。書き、読みができるようになったら、その日のうちにワークに取り掛かると定着率がアップします。